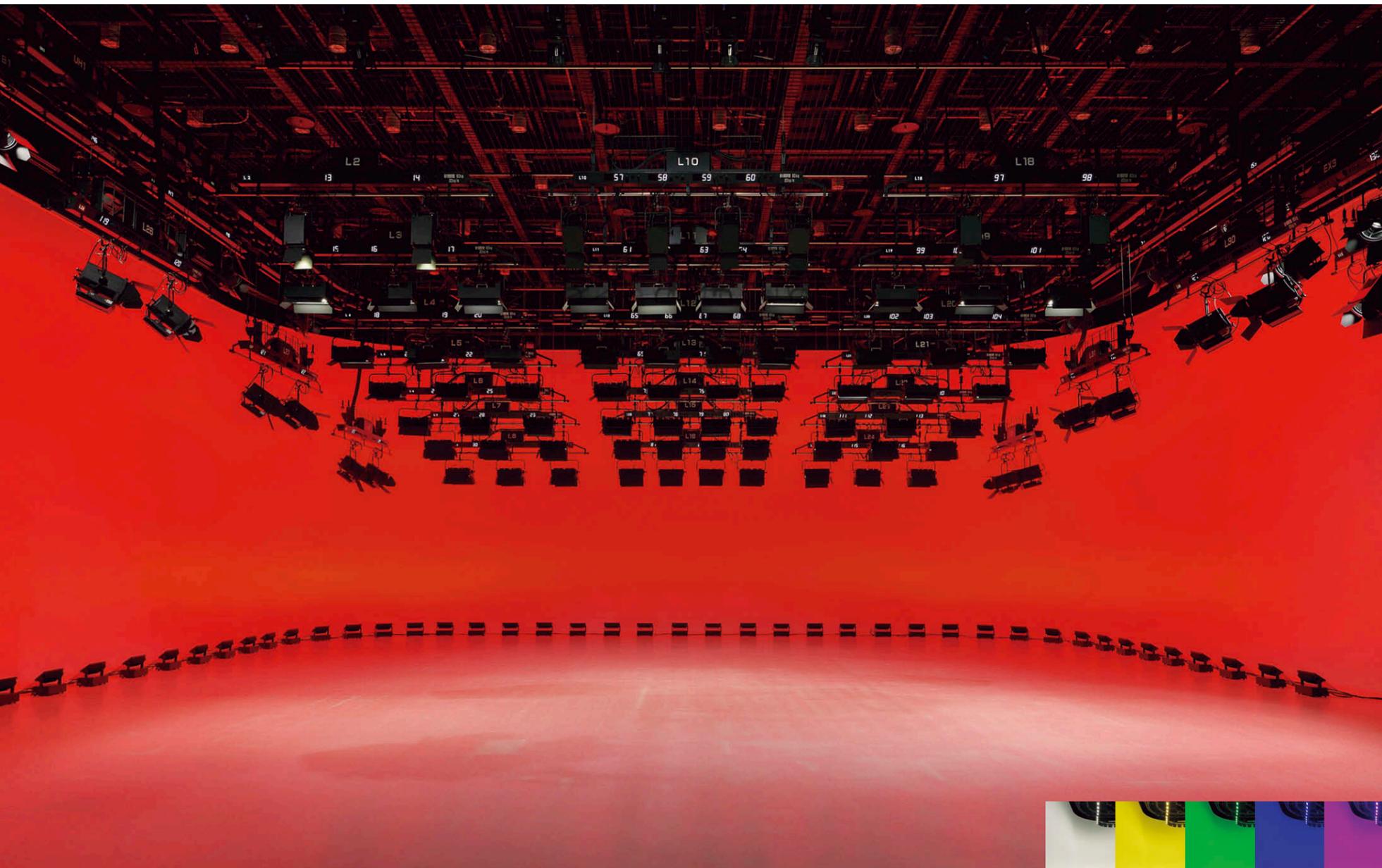


2018年3月、広島テレビ放送がJR広島駅の北口、通称『エキキタ』に本社を移転。9月から電波が発報され完全移転となります。制作スタジオのAスタジオ、報道スタジオのBスタジオは、クロス運用または同時運用が可能で、将来の運用変化や様々な番組構成に合理的に対応するシステムとなっています。調光設備、ボタン、照明器具、すべてがLEDに対応したフルLEDスタジオです。

広島テレビ放送は、広島に本社を置く日本テレビネットワークの地上波テレビ局です。1962年に開局し、現在は、県内全域と周辺の約150万世帯、380万人に放送を届けています。地方局で初めて、24時間いつでもニュースを送り出せる『ニュースセンター』を設けるなど、常に先進的な“創意”と広い視野を持った番組作りが特徴。カーブを応援する“No.1放送局”を目指し、2015年から局のキャッチコピーを「完全カーブ主義」とし、カープナインの躍動をよりエキサイティングに伝えています。



【物件概要】
所在地：広島市東区二葉の里3丁目5番4号
Aスタジオ スタジオ面積：366㎡
天井高：10m
グリッド高：8m
ホリゾン高：6.5m
Bスタジオ スタジオ面積：112㎡
天井高：4m
グリッド高：3.5m
完成：2018年3月



Aスタジオの照明 LED専用ボタンのスマートセンピ⑨、スマートトラス⑩、照明器具は1kW/1.5kW/2kW切換形LEDスポットライト②、LEDブロードライト③を導入。

スマートセンピ、スマートトラスを採用。作業性、操作性に優れたフルLEDスタジオを実現。

Aスタジオは、LED専用のスマートセンピ、スマートトラスを、美術セットへの干渉を軽減できるようにレイアウト。これらのシステムは、照明器具吊込み時にボタン本体でDMXアドレス変更ができ、DMXアドレス、積載荷重、定格消費電力などの情報がボタン本体に表示可能です。昇降時には動作方向を点滅表示し安全性にも配慮しています。

新型のフルLED専用調光操作卓スマートコンソールは、39形タッチモニターによる直感的な調光操作、カラー制御、シーンやチェイスの

作成、メモリ操作が可能。マルチファンクションボタンをもつベルトフェーダはオペレーターの好みでカスタマイズ割り当てができ、従来の操作卓と比較して、より自由度が高い操作を実現しました。

新技術のLED器具自動認識機能により、調光操作卓で照明器具の状態確認が表示できます。さらに、読み込んだ美術セットのデータを画面上で合成することもでき、仕込図としてプリントも可能なため、仕込作業の負担が大幅に軽減されました。



AスタジオのLEDホリゾンライト アッパー⑥、ローア⑦によりフルカラーでの照明演出が可能。



② 1kW/1.5kW/2kW切換形LEDスポットライト FORTEX Grand (特注) ③ LEDブロードライト



Bスタジオの照明 主にハロゲン500~750W相当LEDスポットライト④とLEDフラッドライト⑤を備えた報道スタジオ。



LED照明器具専用ボタン Aスタジオに導入したスマートセンピ⑨(左)と、スマートトラス⑩(右)。



①フルLED専用調光操作卓 Aスタジオ、Bスタジオ共に同一の調光操作卓を導入。 ⑧ワイヤレスタブレット操作器 調光操作卓と同じ画面、同じ操作性で、調光・ボタン昇降の操作が可能。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
A・Bスタジオ	①フルLED専用調光操作卓	SmartConsole SC60	各1	ベルトフェーダ60本、39形タッチモニター、他
	②1kW/1.5kW/2kW切換形LEDスポットライト FORTEX Grand	AL-LED-FSG-W-5 (特注)	50	消費電力:241W
	③LEDブロードライト	AL-LED-BRH-W	42	消費電力:162W
	④ハロゲン500~750W相当LEDスポットライト FORTEX Junior	AL-LED-FSJ-W	23	消費電力:140W
	⑤LEDフラッドライトSタイプ	AL-LED-SQA-W	40	消費電力:159W
Aスタジオ	⑥LEDアッパーホリゾンライト	AL-LED-UH-4W-C	50	消費電力:140W
	⑦LEDローアホリゾンライト	AL-LED-LH-4W	44	消費電力:140W
	⑧ワイヤレスタブレット操作器	-	2	調光・昇降操作
	⑨LED専用ボタン スマートセンピ	-	52掛	
	⑩LED専用ボタン スマートトラス	-	3掛	